

云った点であります。税金がどの様に使われ、どの様に活用されているかについてのPR不足を反省するものでありまして、云いかえれば納税意識の高揚と云うこととなりますので、今後キャンペーンを展開して行く必要があると考えています。

最後に函館管内税務署の話しを少しさせて頂きます。管内には13市町村あり数では道内では帯広、倶知安に次いで全道29署中第3位、人口、世帯数は道内シェア、共に約8%、特に人口は札幌を除きますと第1位となっております。一方国税収入はシェア5.6%の約500億円で、道内第7位となっております。小口納税者の比率が高く、納税形体は直接型(82.6%)であると云ったのが特徴と申せましょう。

時間が参りました。何かまとまりのない話しとなりましたが、意のあるところをお酌み取り頂きまして今後共よろしくお願い申し上げます。ご静聴ありがとうございました。

◎ 出席報告

会 員 数	68名	出 席 率	函 館 北 12月 4日	97.06
出 席 席	56名		函 館 東 12月 3日	91.14
欠 席 席	12名		函 館 11月 28日	93.22
他クラブ出席	10名		函館五稜郭 11月 29日	100.00
出席合計	66名		函 館 亀 田 12月 2日	76.06
除 外 者	0名			

次回・12月25日
プログラム

クリスマス家族会

函館国際ホテル 18:30

例会日：毎週水曜日 12:30～13:30 例会場：函 館 国 際 ホ テ ル
事務所：函館市大手町5-10 日魯ビル3F TEL (0138) 23-3870

第251地区 第11分区



1985～1986

The Weekly Report of

Hakodate North R.C.

函館北ロータリークラブ会報

エドワード・F・カドマン 国際ロータリー会長テーマ

You are the Key

あなたが鍵です



エギナの教会

椎谷 龍彦 会長

《第1082回例会》 第26号 12月25日(水)

本日のプログラム

クリスマス家族会

★会 長 椎谷 龍彦

★幹 事 中野 亮

1985～1986

〈第1081回例会〉第 25 号

12月18日の記録

◎司 会 椎 谷 龍 彦 会 長

◎齊 唱 手 に 手 つ な い で

◎ビジター 函館東R.C. 西村敏雄 君

五稜郭R.C. 青田秋彦 君

◎ゲ ス ト 信照寺住職 指田日軌 師

◎会長報告 椎谷 龍彦 会長

○今日は、以前に参りました時と違って、このように立派なお寺とは思いませんでした。後程卓話をちょうだい致します。

○お知らせ：元当クラブの会員であった山矢 信 氏が直腸ガンで亡くなられました。

◎親睦委員会 加進 裕 委員長

来週の例会は例年通り、クリスマス例会ということで夜間例会となっております。親睦委員の方は5時30分迄にお集り下さい。

ニコニコBOX投入のお知らせ

飯塚 会員 …… 結婚祝をいただきましたので

◎幹事報告 南 宏國 副幹事

○例会変更のお知らせ：1月8日の例会は、新年交例会で夜間例会です。

(場所：一乃松 時間：午後6時より 会費：6,000円)

○レート変更の件：現在216^円/_¥が1月1日より202^円/_¥になります。

○認証状伝達式案内：クラブ名、265地区京都洛南R.C.

(年月日：61年2月18日開催 登録料：15,000円)

◎プログラム委員会 村上 教忍 委員

委員長の石橋さんから、私共のお寺で移動例会をとの要請があり、今回その運びとなりました。ゲストスピーカーの紹介に先立ち信照寺の紹介を致します。

○信照寺の紹介：当寺の所属宗壇は本門仏流宗であり、安政4年に本門仏流講という講壇を組織し発足致しましてから約130年の歴史をもっています。この宗壇のお経は法華経であります。御本尊は法華経本門八本に説かれていますお題目の蔓蛇羅で、日蓮上人は精進の如来様としてお仕えして居ります。

本山は京都上京区北之下丸にあります幽泉寺で、本寺は東京渋谷の乗泉寺であります。寺院数300、海外ではブラジル(9)、韓国(6)、ハワイ、ロシア、アンジェルス、台湾等にもあります。教士900名、信徒515,700人を数えております。

当信照寺は大正15年に建立され、昭和17年に信照寺と寺号を公称いたしました。住職は五代目で、教士10名、信徒約1,200戸です。現在の本堂は昭和53年に建立されたもので、実成寺(青柳町)、本教寺(森)、本殿寺(八雲)、信教寺(室蘭)などの末寺があります。

○ゲストスピーカーの紹介：ゲストスピーカー指田日軌師は、大正15年生れ、室蘭工大、立正大学京都大学院印度哲学課を卒業し、昭和45年に当寺の住職になられました。本山の弘通(グソウ：教宣の意)局長、集会議長を経て、現在企画室長で極めて多忙で当地に居られることの少ない毎日です。

◎卓 話 “信心とは”

信教寺住職 指田日軌 師

・信心とはという題ではありますが、仏教についてお話をすることにします。アメリカへ行った時など、よく仏教のことを聞かれる。そして、宗派は浄土宗など云々と、その宗派は何をお教えるのか、他の宗派とどう違うのかと話が及ぶと、ほとんどの日本人は答えられないのではないかと思う。この様な時仏とは何か、

教えは何かなどについて、私のお話が手掛りとなり返事が出来ればと思う訳であります。

・仏教は何かと云いますと、仏様の教えであります。しからば仏の教えとは何かということになります。今から2,500年前にインドに生まれたお釈迦様、即ちしやくか かにしやくそん釈迦牟尼釈尊が仏様と通説的に皆様は考えられていると思います。その通りで、釈迦牟尼釈尊のお教えが仏教であります。その時代のインドでは、ジャナ教とヒンズー教の2つの宗教があり、ジャナ教は人生は苦しみだとし難行苦行の果に快樂が得られるとし、後者は人生は快樂とする享楽主義の教えでありました。両極端のいずれも現実に矛盾すると考え、中道の教えを発明発展させ、現世の苦しみから人を救うというのが仏教で、BC2世紀頃、アショカ王が信仰を広めました。

この状況は6世紀迄続いたが、西方から一神教で過激なイスラム教が侵入し、仏像、寺院を破壊し、他宗教の駆逐を図りました。ヒンズー教は多神教であることから攻撃を上手にかわし、手を組み生き残った訳です。ジャイナ教は寂れ、無抵抗主義の仏教は、一つは南方仏教としてビルマ、タイへ、又セイロンへ追われて残り、他の一つは北方仏教と称し、チベット、トルコン山脈や天山山脈を越え、さらにシルクロードを経て長安に達した。こうして、インドには全く仏教は姿を消し、今では逆に輸入している有様です。又、仏教の最盛期にインドから中国へ渡り住みついた達磨大師や、中国からインドへ教文を求めて20年余も旅をした玄奘三蔵法師などが有名だが、途中事故や盗賊などに会い死んだ人も多い。

・こうして語り伝えられたものが支那仏教であります。中国には以前から天子天子が庶民を治める武器としての儒教道教が盛んで、仏教はそぐわないところもあったが、広大な哲学をもつ仏教も何んとかせねばとの気運も一方にはあった。支那仏教は儒教道教におされてか、山に入り沈思黙考する性格が強く、山岳仏教とも云われている。一念参禅、哲学の構成や学門の象徴としての天台山が生まれたその中であって天台大師が、インドからの教えを整理し、幾度も結集会義を開き仏の教えの決定版を作った。その要点は、仏典を成立年代と場所により別け、

(1)華嚴(華嚴宗)、(2)阿含(阿含宗)、(3)方等(浄土宗)、(4)般若(禪宗)、(5)法華(法華宗、日蓮宗)、の五つの教えにまとめました。

宗派は、これらの教えのうちどれを中心にするかで別れ、私達の宗派は、最後の教えである法華教を中心としたものであります。この法華教は8巻28章ありそのどこを中心とするかで法華宗、日蓮宗、創価学会などに別かれています。

・お経といいますが、普通の人はお葬式の時に読むものと思っておられることでしょうが、間違った使い方とも言えます。全てのお経は「にょぎがもん如是我聞」の言葉から始まります。仏の言葉を我はこのように聞いたという意味です。その昔、玄奘三蔵がインドから経文を中国へ持ち帰ったといわれているが、これは書いたものを持ち帰ったというより、途中での紛失を予知して全てを暗記して帰った。即ち自分が経文であった訳です。独演、即ち経文を暗記して自分でもっていることを意味しました。こうしたことから経文は読むもの暗記するものということに集中し間違った道を踏ことになりました。本当の如是我聞の意味は、お経の内容の実行であり、そのための経文の解釈にある訳です。宗派は、お経の解釈の違いによっても別かれます。私達の解釈では、「人を救わんとする」理念が全ての経の共通の基本理念となりました。そして法華経は集約すると「南妙法蓮華経」が人を救う根本精神と解釈する。大化や平安の時代から種々の日常生活や文学の中に法華経の比喻や引用が出て役に立っているが、日蓮上人はそうした読み方は間違っていると、根本は人を救う魂があり、その最後の題目がその説こうとした慈悲の心であるとして「南妙……」と名付けました。経本を読む事は大変なことであり、その解釈となるとさらにむづかしいことですが、その時にどこに原点を置くべきかを示したものと考えています。法華経はインドのりょうじゆせん靈鷲山での釈尊と弟子との対話から出来ている。処がその場所が途中から山の上から虚空という処へ場所を変えて対話をするヶ所があります。虚空とは何かというと場所と時間を超越した処を云うが、この虚空で解かれる妙法蓮華経をいただくというのが私共の信心のやり方であります。

お題目様ですが、もしそれが仏の悟りの中味だとしたら、私達の六根(=六感、即ち、目・耳・鼻・舌・身・意を指す)が何ものも感じない、考えない状態、即ち「空」になることを実行するために六根で唱えることであると教えられています。お題目でなくとも、私達は一日一回でも2回でも、空になる瞬間を作れば、新しい考えや新しい見方を発見するのに役立つのではないかと思います。どうか自分の宗教を今一度見直して、何を教えているのか、私達生活に役立つことを教えているのかを自分なりに把握していただくことが人生を生き抜く時に役立つのではないかと思う次第です。

◎ 出席報告

会 員 数	68 名	出 席 率	函 館 北 12月11日	91.18
出 席	46 名		函 館 東 12月10日	89.87
欠 席	22 名		函 館 12月 5日	93.17
他クラブ出席	16 名		函館五稜郭 12月 6日	100.00
出席合計	62 名		函 館 亀 田 12月 9日	76.09
除 外 者	0 名			

次回・1月8日
プログラム

新年交例会・夜間例会

例会日：毎週水曜日 12:30~13:30 例会場：函館国際ホテル
事務所：函館市大手町5-10 日魯ビル3F TEL (0138) 23-3870

昭和60年12月25日

会 員 各 位

函館北ロータリークラブ
幹事 中野 亮

今般、当クラブ会員より下記の方の入会の推せんがありましたので、理事会はこれを職業分類委員会ならびに会員選考委員会にはかりました結果、両委員会よりそれぞれ適格であるとの報告をうけました。
よって、理事会はその報告に基づき会員候補者として、これをクラブ内に事前発表することいたしました。
つきましては、同候補者の入会に対してご異議のある方は、来たる1月3日までに書面により幹事あてお知らせ下さるようお願いいたします。

氏 名	職業分類	役 職 名	推 薦 会 員
寺 井 教 夫	病 院	佐々木病院院長	椎 谷 龍 彦